

高水山・常福院（じょうふくいん） 東京都青梅市成木 7-1131

東京都青梅市にある高水山（たかみずさん、標高 759m）山頂にある真言宗豊山派の寺院です。ここに行くのも大変です。開創は9世紀（801年～900年）の頃、西多摩・日原の大日如来窟で修行した智証大師が、高水山で降魔の修行をしている時、浪切不動尊を感得したことに始まると伝えられており、本尊は「浪切白不動明王」と称しています。源平・鎌倉時代の有力な御家人である畠山重忠は、この不動明王に深く帰依し不動堂を再建したが、数度にわたる山火事のため焼失し現在の不動堂は 1822 年に再建されたものです。また、不動堂前の左右に鎮座する狛犬は和犬の石像で、本堂前に開運守護の剣(レプリカ)が置いてある。



不動堂



不動堂の上にある龍の彫刻



色あせているが当時は艶やかだったと思われる



狛犬が可愛い



開運守護の剣



梵鐘(山々の静寂のために衝かないようにと触書があった)



本殿横にある建物の扉を恐る恐る開けてみた

奥に龍の石像